

ジビエ利用モデル地区「宮崎県 延岡地区」の取組概要①

モデル地区の構想

- 捕獲者の新規雇用と捕獲体制の強化、シカ・イノシシの生体搬入による鮮度を維持した高品質なジビエの生産に取り組み、キッチンカーを始めとした多様なPRにより販路を開拓して「食で人を呼べる地域づくり」に貢献。

特徴的な取組

- 捕獲者を新規雇用し21名体制(H28:17名⇒R1:21名)に拡大、捕獲頭数の増加に取り組む。
- わなで捕獲したシカ・イノシシの生体搬入に取り組むとともに、銃捕獲したイノシシや遠隔地の捕獲個体も鮮度を保持しながら搬入するため冷凍車を整備。
- 一次処理から加工品製造まで一貫して実施できる衛生的な処理加工施設を新設するとともに、処理解体研修により従業員の技術レベルを高位平準化し、処理能力を向上。
- 通販用ホームページを作成、Web市場での販売体制を確立。また、キッチンカーを活用した販売PR、市内バスツアー客への直接販売PR、県内外の商談会やイベントにも出展し販路開拓。

捕獲（延岡市、日向市ほか）21名体制

わなで捕獲したシカ・イノシシは生体搬入
銃捕獲したイノシシや遠隔地の捕獲個体は
冷凍車を活用



処理加工施設

マツダ
コーポレーション

精肉・加工品・
ペットフード商品
へ加工



地元卸業の吉田精肉店
の協力の元、新規販路
開拓を推進

キッチンカーを活用
したPR活動

県内外料理店、Web市場、バスツアーなど

モデル地区の各体制

捕獲

体制

- 捕獲者を新規に4名雇用し、21名体制に捕獲体制を強化。
- ICT技術を利用した捕獲通知システムを一部のワナに導入し、実証試験を実施。

メリット

- ジビエ利用を前提とした捕獲技術を持つ捕獲者が増えたことで、ジビエ利用に適した高品質な個体を多く確保することが可能。
- ICT技術を利用した捕獲通知システムにより、捕獲効率と見回り効率が向上。

プレイヤー

- マツダコーポレーション
- 延岡地区猟友会

搬送・集荷

- わなで捕獲したシカ・イノシシの生体搬入に取り組む。
- 銃により捕獲したイノシシや遠隔地の捕獲個体について、冷凍車を2台導入し集荷・搬送範囲の拡大と効率化。

- 生体搬入し、施設内で素早く処理することで、高品質なジビエの確保が可能。
- 冷凍車の活用により鮮度を保持し、良質な個体の広域集荷が可能。

- マツダコーポレーション
- 延岡地区猟友会

処理加工

- 1次処理から加工品製造まで一貫して実施できる衛生的な処理加工施設を新設し、処理能力を向上。
- 従業員の処理能力向上のため、処理解体研修に参加するとともに、社内で情報共有。
- 捕獲と解体・加工の両方を行える従事者がジビエ生産を担当。

- 年間50頭の処理能力だった処理加工施設を一新させることで、目標頭数の1,000頭処理が可能。
- 大型冷凍庫を導入したことで、在庫調整、管理が可能。
- 従業員の人数を増やさずに処理能力の高位平準化が可能。

- マツダコーポレーション

販売

- ホームページを作成し、Web市場での通信販売を実施。
- キッチンカーを活用した県内イベントでの販売PR、施設に立寄る市内バスツアー客に試食、販売PR。
- 県内外の商談会やイベントに出展し、販路開拓。

- 通信販売により、全国からの需要に対応でき、販路拡大が可能。
- キッチンカーやバスツアーにより、消費者に直接PRが可能。
- 県内外の飲食店と直接商談し、販路拡大が可能。

- マツダコーポレーション
- 吉田精肉店
- 延岡市
- 宮崎県
- 県内外の飲食店・直売施設

ジビエ利用モデル地区「延岡地区」の取組概要②

コンソーシアム名

延岡市ジビエ振興コンソーシアム

コンソーシアム構成員

- 宮崎県東臼杵農村振興局
- 延岡市
- 処理加工施設
株式会社マツダコーポレーション
- 延岡地区猟友会
- 吉田精肉店
- 九州保健福祉大学

ジビエ倍増モデル整備事業取組内容

整備事業

取組内容
冷凍車整備（2台）
中核処理加工施設新設

推進事業

取組内容
捕獲対策研修会への参加
先進地事例研究
販路開拓（PR活動・商談会参加・HP制作・メニュー開発）
ICT機器導入実証試験